

Japanese Cultural Center of Hawai'i

ORAL HISTORY INTERVIEW

with

Shizuo Yoshikane (SY)

吉兼静夫

Interview date: June 9, 2009

Interview by: Yoko Waki (YW)

YW: では、これから始めましょう。お名前とお生まれになった年、お願いします。

SY: 吉兼静夫。大正 11 年。3 月 11 日。

YW: どこでお生まれですか？

SY: 日本。山口県。

YW: 山口県。山口のどこですか？

SY: 大島。

YW: 大島郡？ ああ、そうですか。多いですね山口県。そこで？ ご両親がいらしたんですか、日本に。

SY: うん。

YW: じゃあご両親のお名前は？

SY: お父さんはコウイチ。

YW: コウイチさん。お母さんは？

SY: お母さんはトモ、トモ。

YW: トモ？ トモさん。それから、ハワイにいらしたんですか？

SY: お父さんはね、ハワイにおったの。

YW: お父さんはハワイに住んでらした？

SY: ああ。ここで。船。漁師しておったの。

YW: 何をしてらしたの？

SY: 漁師...

YW: あ、漁師してたんですか。ハワイでね。

SY: うん。

YW: それで？お母さんは？

SY: お母さんはずっと日本。

YW: 山口？

SY: 山口。

YW: それで、どうやって結婚したんですか？

SY: お父さんはね、ひとつかふたつになるときにおじいさんが抱いてから日本にいんだんだ。 お婆さんとお爺さん。ハワイから。

YW: お父さんのご両親が、（お父さんが）赤ちゃんのときに（日本へ）連れて帰った？

SY: 日本へいんだんだ。

YW: それで？

SY: 日本で、ずうっと40なんぼ頃まで日本にずうっと。

YW: それで、結婚したでしょう。

SY: うん。トモさんと結婚した。

YW: で、子供、7人ぐらい？

SY: うん。10人兄弟だ。

YW: そうですか。 シズオさん、何人目？

SY: 一番上。

YW: 一番上？

SY: 馬鹿じゃよ。総領の。

YW: 総領？ 一番偉いじゃない？

SY: No。

YW: No？ そうですか？

SY: もうね、2番目と3番目、死んだ。

YW: そうですか…。そうすると、お父様はハワイに・・・？

SY: ハワイに戻るとる。

YW: いつ戻って来たんですか？

SY: 何年ぐらいかねえ？ だいぶ...

YW: 40なんぼまでいたんだから、40歳ぐらい...？

SY: Yes。

YW: ハワイに戻ってきて？

SY: Yes。

YW: で、シズオさんもそのとき一緒に...

SY: No。まだ、あとから。

YW: 後から。

SY: うん。

YW: じゃあ、お母さんは山口？

SY: ずっと、まだ。

YW: お父さんだけ、先に戻って来て？

SY: お母さん、まだ来られない。

YW: ああ、そうですか。で、それで結局いつシズオさんがハワイに来る事になったんですか？

SY: 1938。

YW: そうですね。いくつのおときかな。1938。

SY: 16。.

YW: 16の時に、ハワイに来た？ お母さんも来た？

SY: No。お母さんは来られなかった。

YW: 来られない？

SY: お母さんは来られなかった。

YW: お母さんは来られなかった。

SY: 子供だけ来られて、お母さんは来られなかった。

YW: ああ、そう…。 で、お父さんと一緒に漁師していた？

SY: Yes。

YW: そうですね。

YW: そのとき、当然お家では日本語しゃべってましたよね？お父様とね？

SY: Yes。日本語ばかり。

YW: 日本語ですよ？

SY: 昔だったら、もう、多かったね。ハワイで。

YW: お友達なんかも？ 仲間の人も、みんな日本語？

SY: 日本語。 外人がね、船乗ったら、日本語覚えるの。

YW: ああ。

SY: むこう。みんな、日本語で言うから。

YW: じゃ、外人の人が日本語喋る？

SY: 日本語、覚える。

YW: で、ずうっと日本語喋っていたわけですね。そうですか。シズオさんはそうすると16歳でハワイに来たから戦争が始まったときはまだ19ですね？ 当然まだ、結婚はしてないですよ？ 19の時ですものね。そうですか。。はい。あの、戦争の始まったとき、あの一、ハワイでは学校は行かなかったですよ？

SY: 行かない。

YW: 漁師をやっていたのね。

SY: うん。もう日本へ帰るってね何が一番早く儲かるか。漁師。だってもう、仕事なかったでしょ？ 漁師が一番早い。で、漁師になる。で、ちいと金が貯まったところに、日本が来てから。。。

YW: それから？ 1941年12月？ そのときは、何をしていましたか？

SY: 漁師。 沖で漁師。

YW: 沖で船、出していたの？ 魚釣りしてたの？ お父さんと一緒に。

SY: No。

YW: ひとり？

SY: お父さん、日本におった。

YW: 日本に帰った？ ああ、お父さんはそのとき日本にいた？ じゃあ、あなただけ？ 家族では、シズオさんだけ？

SY: No。 弟。

YW: 弟さん？

SY: 弟がおった。

YW: 弟？ 弟さんが？

SY: あれはおかの仕事をしとった。

YW: そうですか。それで、ちょっと、そのときの様子をお話し下さい。急に、飛行機が飛んで来たんですか？

SY: 朝ね、爆撃された。僕ら眼鏡で見えちよる。日の丸が付いちよるでしょう？ 僕ら日本が来るもんか。言い張ってからケンカしよる。それで昼前頃になって黒い煙が上がりだして真珠湾。おかしいな。それから昼食べて。寝ころんじよった。
(そしたら) 飛行機。アメリカの。

YW: それは、船の上でですか？

SY: 船で、撃たれた。

YW: 撃たれた？

SY: 撃たれた。5人乗ったが誰もケガ人はなかった。弾は下までいかんの。大きなアイスがあるでしょう？ あれ下を包んでおるからね。下まで行かんの。海軍何もしない。オンリ飛行機がね、海軍は近くに来て（何もしない）。海軍はやっぱ何があるんだね。あの、規則か何かがね。で、何もしない。近くまで、すーっと来る。恐ろしかったよ。

YW: ねえ... それで？ どうしました？

SY: それから...

YW: どうしました？

SY: それから、（漁の）道具があるからね、あれ、皆、取って。 道具取るのに3時間ぐらいかかるからね、それから帰ったの。ケワロへ。

YW: ケワロ？

SY: うん。ケワロ。ケワロ。

YW: それで？

SY: それでちょうど7時頃。

YW: 夕方？

SY: うん。あの頃だったら7時だったら暗くなるからね。ここから、ランプがあるでしょ？あれ点けて入った。入ったら、てんつく鉄砲で、いっぱいおったの。兵隊が二人乗ったの。何にも。。。

YW: 誰が乗ったの？

SY: 兵隊が。

YW: 兵隊が乗って来たの？

SY: うん。二人。で、着物濡れちよるからね。チェンジしたい。（でも）何にも言わなかった。

YW: 何にも言わない？

SY: うん。じゃから5人が並んで上あがるんですよ。

YW: それで？

SY: それで一人ずつ上がるんじゃないの。ここ（と肩をさして）を持ってね5人が一緒に上がるんですよ。上がりにくいよ。ここ持ていうんよ。

YW: それで？

SY: それで上がったら FBI 行った。

YW: FBI？

SY: うん。

YW: FBI連れていかれたんですか？

SY: FBI行った。

YW: ああそう...

SY: あそこで、ちいと調べてね、それから移民局へ行った。

YW: それから移民局？

SY: うん。ちょうど8時半頃行ったねえ移民局。

YW: 夜のね、8時半頃。それで？それからどうなったんですか？そこへずっと？勾留された？ それでサンドアイランドに...

SY: 俺が一番悪かったのはね、移民局。僕ら来たときは寝るところがなくて捕らまった他の人達がいっぱい居る。フルはいつておる。上の人皆。一番嫌だったのは便所。朝。みんなが行くでしょう？便所、ないでしょう。皆待つとるもの。

YW: 何人位いたと思いますか？

SY: 大分ね。全部入れてか。僕ら行った時は寝るところないんで、したに。ハワイだからいいのにね。12月だって。

YW: それで？ 22日までそこにいたんですか？

SY: 1月の。

YW: 1月でしょ。そうすると、、、

SY: 出してくれた。

YW: それは、どこから出たの？ サンドアイランド...

SY: サンドアイランド。

YW: サンドアイランドから出て、出ていいって言われたんですか？

SY: 何もくれない。あんとき危ない、又囲まれて捕まえられると思った。でも僕の家上がってカカアコにおったからね、近いから歩いて行った。

YW: カカアコにお家があったんですか？

SY: えっとね、アンティがおったから。

YW: あ、アンティ、おばさん。おばさんがいた。そこにいた。そして？しばらくしたらまた。また？今度は？6月ですね？

SY: うん。6月10日。このとき、（働いている場所で）番号を呼ばれた。

YW: 働いてた、どこで？

SY: ハワイアンパイン。

YW: え？

SY: パイナップル。何か仕事しにゃ、捕まるでしょ？しないと捕まえられるから。変な仕事してるとつまらんから。ハワイアンパイン楽なんですよ。あの頃。シーズンじゃないから。

YW: ハワイパイナップルで仕事をしていて、6月に、また捕まった？ 誰が来たんですか？

SY: FBIが来た。

YW: FBIがまた来て、で、なんて言ったんですか？

SY: あこで調べがあるって。

YW: 調べがあるって？言われた。6月ね。

SY: 6月に連れてかれた、また。

YW: またサンドアイランド。。。。

SY: No, 移民局に。

YW: それで? どうしました?

SY: また今度砂島入って。

YW: また砂島入った。それで? これは、次の年までずっと...

SY: 18年までおったね。

YW: 砂島にいた?

SY: Forty three まで。

YW: それで? 今度は?

SY: Forty three. 2月。。。。

YW: 1月23日、1943年、アメリカの。どこに送られたんですか?

SY: ジェローム・アーカンソ。

YW: ジェローム・アーカンソ、あ、そう。何か説明ありました? 何か説明しました?

SY: 何も言わない。

YW: 何も言わない? ただ送られた?

SY: 汽車に乗っても町入ったらドア皆降ろす。降ろさすの。危ないから。日本人でしょ? 向うがやる、やられるから。

YW: ああ、そう。。。

SY: そう。皆ウィンドウ閉めて。町通る時は。

YW: そこへ着くまでどのぐらいかかるんですか?

SY: 船が、9Days かかった。アメリカまで。真っ直ぐ行かんでしょ。戦争だから。真っ直ぐ行ったら、やられるから。

YW: ああそう。。どこに着いたんですか?

SY: たぶんサンフランシスコ。

YW: サンフランシスコ、それから。。。

SY: それでサンフランシスコに着いてから車で、ジェロームに行った。

YW: それで、2月ですね？

SY: 2月。一番寒い時。

YW: 寒かった？

SY: はあー、寒い寒い。2月だから。

YW: 着るものは？ 着るもの。。。

SY: オーバーコートくれた。兵隊の。あったでしょ、昔。

YW: くれたの？ そうですか。ハワイにないものね。

SY: 皆にオーバーコートだけくれた。

YW: それで、ジェロームセンターについたのが2月6日ですね。1943年。そこに、約1年以上いました？

SY: 1年。

YW: それでまた移ったんですか？

SY: うん、移った。ツールレイクに。

YW: それも。ただ移るって、説明なし？

SY: ジェロームはあの時、クローズした。

YW: クローズした？ そうですか、それでツールレイク行って？ ツールレイクに行く前にジェロームについた時は、どういう様子でしたか？

SY: 汽車から降りるのにね、何も無いの。止まる所ないの。飛び降りるの。年寄りにはかわいそうだった。僕らは若いから飛び降りられる。普通のところに停まるんじゃけん。何にも出来んから。皆飛んでおりた。哀れなものよ。

YW: どういうところですか？ このジェロームセンター。

SY: 何も無いとこ。

YW: 小屋ですか？ 小屋？ テント？

SY: あっこはもうハウスが出来てた。

YW: ハウス。でもまわりに何も無い？

SY: 何も無い。良い所に建てんよ。あんなもの。

YW: 寒い？

SY: 寒い寒い。もう、あのね道の上が凍っとる。2月に。だからね、滑らないように歩けて言うよる。

YW: 靴はいてた？

SY: Yes.

YW: オーバーコートを着て？

SY: もらったのがあるから、兵隊の。

YW: それでそのハウスの中はどうなってる？

SY: ハウスの中、自分で、また。コールじゃないの、僕ら。木の。木を焚くのね。ストーブ。すぐ温くならんの。コールじゃったらね。すぐ温くなる。木のちっぷなのでなかなか温くならん。

YW: ああ...そう...。 ベッドはあったんですか？

SY: ベッドある。ベッドだけ。

YW: ああ、ベッドだけ。 洗面は？ 顔洗うのは。

SY: また、便所のとこ、洗濯するところがあって便所が。あっこ行って洗う。あの、夜に便所に行くのが...

YW: 寒い...？

SY: 遠いでしょ！ ああ。ものすごく遠い。寒いんだ。

YW: それで？何も出来ないですか？そこでは。やることない？ただ、居た？

SY: ノウ。皆、Some 仕事する。

YW: 仕事するんですか？

SY: 18ドル。

YW: 18ドル。何の仕事ですか？

SY: 何の仕事でも18ドル。

YW: どういうことを？

SY: ドクターが20ダラー。1マンス。

YW: 吉兼さん、何してました？

SY: 病院のクック行った。

YW: え？ 病院の、クック？ 料理？

SY: Yeah.

YW: 料理できるんだ？

SY: だから、何も心配ないよ。今も。

YW: ああそう。

SY: だから魚食ったり。豚食ったり。魚好きでも魚ばかり食われんの。やっぱり、豚も食わないと、自分の体のためだから。

YW: そういう、料理する材料はたくさんあったんですか？

SY: いや、病院は特別。あっちはね、レーション (ration)。レーションって、砂糖でも何でも無かったんだからね。病院だけはよくなってる。

YW: 病院にはあったんですか？

SY: (他は) これだけ持っとして。パオ。レーションだったからね。

YW: そうですね。あの、お料理したのは、どういうお料理をしましたか？

SY: やっぱり、外人の何ね。何が有るんじゃから。

YW: あ、メニューがあるんですか？ メニューがあるんですね。

SY: こしらえてある。

YW: あ、そう。そうするとやっぱり外人の人の食べる、、、

SY: ノー、やっぱりあの、日本人だからね、おもゆをつくりよったの。年寄りが入ってるし やっぱりお芋作るって難しい。

YW: でも日本の物はなかったですよ。いくらなんでも。

SY: 食べるものは、悪かなかった。良かったよ。

YW: そこは、良かった？ ジェロームセンターは良かったんですね。で、次に行った、ツールレイクはどうでした。あ、ちょっと待って。食べ物のことであの、ケンカしたり、誰か持っていったりとかは...

SY: ない。

YW: それはない？ ここではなかった？

SY: ジェロームではない。

YW: ジェロームではなかった。ツールレイクは...

SY: ジェロームでは、ギョールフレンドも。

YW: ジェロームではなに？

SY: ギョールフレンドがいた！

YW: え〜？ 本当に？

SY: 一番きれいな。

YW: 同じキャンプにいる人？

SY: ミスハワイの。あのギョールはミスハワイになつとる。

YW: あら、本当？

SY: ハッパ。日本人と。

YW: その人も、キャンプにいたんですか？

SY: 親と一緒に。

YW: あの〜、そこの病院に入ってる病気の人もいたんですか？

SY: 肺病の。

YW: それは、キャンプに入れられた人？

SY: キャンプに入ってる年寄りだな。肺病が多かった。TB。

YW: 肺病？ TBが多かった。ああそうですか。

SY: 小さげなギョールがおった。肺病、綺麗な。

YW: お友達になったの、その人と。

SY: うん、まあ。クックセにやあいけんから。

YW: 忙しかった？そうですか。そこの病院に入っていて、亡くなった方なんかもいました？

SY: Yeah. いた。

YW: たくさん？ 何人とか？ 大勢？

SY: やっぱりね。年寄り。

YW: お年寄りですか？

SY: 年寄り。ハワイの人がね、ONE 死んだ。飲み助よ。ドクターが使うアルコール。あれ、水入れて飲んどった。死んだ。つまらんだった。

YW: そうですか....。

SY: ドクターはね、Twenty dollars. 僕らよりツーダラー多いだけ。

YW: そうですか。ドクターは20ドル。

SY: ドクターは twenty dollar 僕らは eighteen。

YW: ドクターが twenty。そうですか。

SY: あそこでタンセルも切った。

YW: え？ タンセルも切ったんですか？

SY: 切ってもらった。風邪。

YW: 風邪？

SY: 風邪！キャッチコールドしよったから。風邪よう引きよったから。あそこで 切ってもらった。

YW: 切ってもらって、治りましたか？

SY: うん... ほんでも年にとって切るものじゃない。

YW: でも、まだ若かったでしょ。

SY: もう、twenty だった。若い子供の時よ。

YW: ああそうなんですか？

SY: 子供が、一緒に切った子供がなんぼでもいた。が、治っとらん。水でも通らん。

YW: そうなんですか。

SY: 痛い。

YW: 痛い？ それは大変。でも治った？

SY: うん。

YW: それであの、まあお料理をして、仕事ですけども。自由な時間ていうのはあったの？

SY: No. Two chef がおったの。

YW: 2シフトが？。

SY: シェフが。朝やったら、昼までやったらおしまい。

YW: 何にも無い晩は。。。。

SY: 病院だったら夜また出さないかんからね。

YW: それで？自由なときは何してたの？

SY: 何もしない

YW: 何もしない？ 寝てる？

SY: ノー寝てないよ。蛇捕りに行ったり。

YW: 蛇？

SY: どっか行ってから カメも取った。

YW: それ、どうするんですか？ ただ取って...

SY: うん、自分が捕って。。。。

YW: 飼うんですか？

SY: 蛇も取って来るから。好きなの。小さな。木と同じ色。グリーンなの。

YW: 読む本とかそういうのはない？

SY: ない。

YW: 何もない？

SY: 何もない。日本のものなんてない。

YW: ないですよ、日本のもの、戦争中に、そうですね。あの、蛇は、部屋の中で飼ったんですか？

SY: No。外で。

YW: でも、こう、捕まえておいてただ見てる？ ペット？

SY: 鈴蛇がかってある。綺麗なよ。中。本当綺麗なの。頭切ってね、綺麗で、おいしいよ。

YW: 食べたんですか？

SY: うん。

YW: 食べた。

SY: おいしいよ。

YW: 食べたそうです。おいしいですって。鰻と思えば...

SY: あこの魚はおいしなかった。臭いの。泥臭いの。

YW: どこから捕ったんですか？

.....

SY: あれは川におるの。捕まえられるんだよ。クックしたの。どうクックしてもつまらん。泥の匂いで食われんの。

YW: その他は別に問題になるようなことはなかった？

SY: やっぱり外人でもね、病院の一番上のばあさんだった。しまいには良うなった。日本人に。始めは悪かったのよ。僕らに。日本人の何が分かったんよ。ようになってきた。本当。変わった。

YW: 良かったですね。

SY: あの おばあさん、一番上だった。終いにはあの「ばばあ」って言ったらすぐ分かった。分かてるじゃない。日本語が。

YW: 日本人じゃないの？その人。日本人のおばあさん？

SY: ノー。やっぱり、日本人の何が本当わかってきた。良うなった。本当。はじめは悪かった。

YW: 良かったですね。そうですか。

SY: 僕、よくしてもらった。

YW: その人に？

SY: おばあさん。

YW: 言葉は？

SY: 言葉は英語で。

YW: 英語で。吉兼さんは？ どうやって？

SY: ああ「Thank you、Thank you」って。

YW: ああ「Thank you、Thank you」って...なるほどね。わかりますよね、気持ちがね、通じて。

SY: 何年も真面目にやっとなら向うは見よるんだよ。

YW: そうね。でも、ジェロームにいたのは、1年と3ヶ月ですよ。2年もいないですね。それで、そこが閉まったんですよ。クローズした。それでツールレイク。

SY: ツールレイクはちょっとしかいない。

YW: ええと...あ、ほんのちょっとですね。1944年の5月17日でしょ。あ、着いたのが21日。それで、次に送られたのが1944年の12月15日ね。ていうことは、約7ヶ月、ですね。そして、今度は、ツールレイクはどうしてそんなに短かったんですか？

SY: こっち、ツールレイクはあんまり、ジャパントイプが多い。

YW: え？ 何が？

SY: 走ってるのが。はちまきしてね。日本の、わっしょいわっしょいわっしょい。

YW: ああそう。そういう人が多かった。

SY: うん。ここは。

YW: それでその、大勢日本人の人がいて、はちまきして？

SY: 朝走る。

YW: 朝走って、それで何か問題があったんですか？

SY: 僕は何も知らない。

YW: あなたは知らない。

SY: 取り合わない。

YW: それで、どんな様子でした？

SY: 朝早くからね、はちまきして....

YW: でも家には？ 同じハウス...

SY: ブロック、ブロックはあった。

YW: それで？

SY: One ブロック。。。

YW: 大勢いたんですね？

SY: ツールレイクは大きかった。僕ら79ブロック、（一ブロックに）ハウスが有る。

YW: ワンブロックにいくつ家があったの？

SY: こっちが6、こっちが6。12ぐらい。真ん中が便所や何か。

YW: それが79、もっとあった？

SY: まだあった。

YW: まだ？

SY: 80なんぼまであった。

YW: そこでまた お料理したんですか？

SY: あっこのキャフェテリアの、79の、クックした。

YW: 79のブロックの。メスホールで？

SY: 病院に行ったの。鉄砲もって行ったの。遠いの。遠いから。

YW: 病院は遠いから。。。

SY: 遠いから。誰か 車で連れて行くんだったら行く。歩いていかん。

YW: そんなに広いんですか？ そこでまたクック。同じようなお料理ですか？

SY: ブロックによって違う。病院とも。

YW: メニューが？

SY: 病院だったら、朝卵二つ出すでしょ？普通のブロックは **only one** しかないでしょ。

YW: 何がワンしかない？

SY: 卵。

YW: 卵？

SY: 朝の。

YW: ひとつ。一人ひとつ？

SY: Yeah。病院だったら二つ。

YW: でも、足りないってことは...？

SY: ない。

YW: 材料は？

SY: 食べるものはあったよ。ツールレイクやったら、あそこのメスホール入ったんだからね。あそこのブロックの。

YW: メスホールでしょ。大勢で一緒に食べるんですか？

SY: Yeah。何がなんでも食べなかったら。皆食べに行く。

YW: 何人位で一緒に食べてたの？

SY: 何人だろ？ 200人ぐらいおるんじゃない？

YW: 200人？ じゃあ広いところですね。

SY: あれが（そういったメスホールが）なんぼいうて有る。

YW: ほんと広い所ですね。そこでお料理するのも大変ですよ。大変じゃなかったですか？

SY: 料理人は僕だけじゃないもんね、5人ぐらいおるから。

YW: 材料とか食べ物は、また、前のところと同じようなもの？

SY: やっぱり、病院のほうがちそうがあった。

YW: え？

SY: 食べるものは同じ物でも、病院ほうが余計くるの。違うの、材料が。やっぱり、肉が一番。良かった。み安かった。

YW: でも、足りないっていうことは、、、

SY: ない。朝からといでね。あとで。。。

YW: お米といでね。

SY: ツールレイクによくいない。

YW: もう、短かったんですね。それで次は？

SY: ヒラー。

YW: ヒラー。これは、なんでヒラーに行ったんですか？

SY: 僕、嫌いだからってなにしておね、出られるの。僕が。何もなかったんだから、行かんでも良かったんだから。

YW: あ、そう。。

SY: **Brother** についていったでしょ。何にもない。ブラックリストもなかったから。ツールレイクのオフィサー、外人のところ。オフィスにいて。ここへ行きたい、と、ヒラー。そしたらすぐ **Ok**.

YW: さっきの、弟さんがケンカしたのは何処だったんですか？

SY: えっとね、ジェローム。

YW: ジェローム、ああそう。で、弟さんと一緒にツールレイクに行ったのね。

SY: ツーレイクへ。あ、移って僕だけ。何してもらった。そしたらすぐ **OK**.

YW: それで、ツールレイクいやだったのは、どうして？

SY: おもしろくない。

YW: おもしろくない、うん。あの、ハチマキして、、、ケンカも多いの？

SY: ケンカが多かった。

YW: 日本人同士のケンカ？

SY: 日本人だね。

YW: どういう理由でケンカになるの？

SY: 知らないよ、そんなの。

YW: 知らない、ただ、日本人同士ケンカしてるの？多かったんですか？

SY: ええ、やりよる。多かった。

YW: 多かった？

SY: 酒があった。

YW: お酒があった？

SY: 酒が。。。

YW: お酒が。くれるんですか？

SY: No、こしらえるの。

YW: こしらえた。どうやって作るんですか？

SY: 日本人は皆んな知ってる。

YW: 知ってる。日本人はこしらえかた知ってたの？ で、何から？米から？

SY: あっこで売りよる、酒を。

YW: そのキャンプで売ってるの？

SY: こしらえたら。

YW: 作るもとのお米ですか？ お酒を作るの、お米から？

SY: Yeah、お米買いに行ったら良いの。自分が。

YW: 買いに行く？

SY: あるから。店が。

YW: ああ、お店があるんですか。そこにお米があって。作るんですね。

SY: 何かと売りよるからね。

YW: なるほどね、それで、それからお酒作って飲んで、ケンカになったの？

SY: もどるとケンカになって。やっぱり、酒があったらケンカになるね。

YW: 吉兼さんはあまりお酒飲まなかったの？

SY: 飲む。

YW: 飲む。少し飲む？

SY: No。いっぱい飲む。

YW: : でもケンカはしなかった？

SY: 僕、ケンカはしない。

YW: そう。それで、嫌になって移ろうと思ったのね。

SY: それで、、、

YW: ヒラーセンターっていうのはまた遠いんじゃないんですか？

SY: アリゾナだけど、ずーっと南。こんだ寒くない。

YW: 寒くない？

SY: 暑い。

YW: あの、汽車で行ったの？

SY: No、バス。

YW: バスで行ったの？

SY: 皆、貧しくしてるでしょ？で、**You Mexican?** いうたから、**Yeah, Mexican** いうたの。ジャパニーズ言われんが。殺されるかもしれんが。戦争だから。**Mexican?** 言うたら **Yes** 言うて。

YW: で、ヒラーセンター行ったのは、バスで行って。

SY: 2 Days ぐらいかかった。

YW: 2 Days... 遠いですよね。でも、危なくなかった？大丈夫？

SY: どうもなかった。

YW: 大丈夫？ 何人ぐらい行きました？

SY: 僕ひとりで。

YW: ひとりで行ったの？

SY: チケットもってね。

YW: バスって？普通のバス？

SY: 遠く行くバスがあるでしょ、あの頃。

YW: ひとりで行ったの？弟さんはどうしたの？

SY: 弟さんはあっこへおった。

YW: 残ってたの？自分ひとりで行ったんですか？

SY: 僕はひとりで行った。

YW: あの、護衛とかは無し？

SY: 無いよ、何もなかった。恐ろしかった、ひとりは。

YW: え？

SY: 恐ろしい。戦争でしょ。やっぱり日本人だから。

YW: それで、メキシカンって言った。

SY: Mexican って向うが言った。だから Yes って。

YW: ああそう。で、無事ついた。

SY: 着いた。2日。

YW: どんなところ、今度は、ヒラーセンターは。

SY: 暑い暑い。

YW: 暑かった？

SY: 暑いよ。アリゾナ暑い。

YW: 今度は暑かった。でも、あの、どうですか、またハウスは。

SY: ハウスも、屋根が二つあった。あそこは。二つ。天井が、暑いから。ダブルにするから、暑いから。

YW: また場所広いんですか？

SY: 広い。二つあった。第一と第二が。で、ヒラーは大きかった。

YW: でも、ツールレイクほどは大きくない？

SY: いや、あんなには。

YW: でも大きい？

SY: 二つあった、また病院で働いた。

YW: また病院行って、クック？

SY: 行ったらすぐ、雇ってくれるから。

YW: よかった。それで、。。

SY: ずっと病院で。お昼は帰られないの。夜まで戻れんの。暑いから。

YW: だから、ずっと病院にいたんですか？

SY: うん。晩方の涼しうなるまで。昼はね、歩けない。

YW: ああ、すごいな。砂漠の中ですもんね。何度ぐらいでしょうね。

SY: だいぶになるよね。

YW: そうですか...。今度は暑い所で。で、その食べ物はどうですか？

SY: あ、そこもね、良かった。

YW: 良かった、じゃあ、別に食べ物で苦労したことは、、、？

SY: ないね、あんまり。

YW: みんながケンカしたとかはない？ 食べ物の事でケンカになったりとかはしない。で、またこれも、シフトですか？

SY: よくしてもらったんや、チーフクックに。ヤングボーイ、ヤングボーイ、まだヤングだった、よう可愛がってもらった。

YW: ああそうですか。

SY: あの、上の方が。チーフクックが。

YW: チーフクックはどういう人ですか？

SY: アメリカの人。

YW: アメリカの人。男？ 英語？

SY: No、日本語、話した。（本土の日系人だった）

YW: 日本語、話した、ああそう、良かったですね。

SY: 良くしてもらったよ。

YW: 例えば？

SY: ヤングボーイ、ヤングボーイって。

YW: 何かくれたとか？

SY: ノー。何もない。

YW: ただ、優しくしてくれた？

SY: やっぱり。アメリカ。仕事の際は飲まない。

YW: でも、夜は飲んだ？

SY: No、夜でも飲まないよ、金がない。

YW: ああ。

SY: 17円か18円貰うのにすぐ無いようになる。

YW: お店はあるんですか？

SY: ある。

YW: どういうものがある？ 何を売ってるの？

SY: 着るものや何かやあったよ。食べるものもあった。

YW: で、そこに、えっと。1945年の10月までいたんですか？

SY: 戦争済んで。

YW: 戦争済んでますね、10月ね。それで？やっと10月に出たんですか？10月に、そこ、ヒラーセンターを出る事になったんですね。で、ここのヒラーセンターではクックをしながら、あと何をしました？

SY: 何もしない。

YW: 何もしない、今度は蛇もいなかった？

SY: おっても、あそこのは食べられない。

YW: 何故？

SY: 乾いてる。

YW: 何が？

SY: 蛇が。

YW: 売ってるの？

SY: 違うよ、ここね、ジェロームとは全然違うの。あっこはドライ。

YW: 暑いから。

SY: Yeah

YW: 暑いから、ドライ。

SY: Yeah

YW: ほかに何かしましたか？覚えてることありますか？毎日何してましたか？何という
こともなく？

SY: 何もない...

YW: 何もなくて？で、そのときは弟さんとは離ればなれですか？

SY: 戦争済んだ時あれはあっこにおった。

YW: どこですか？

SY: シカゴ。

YW: シカゴ？

SY: シカゴ。

YW: 弟さん？

SY: あれ以後別れた。シカゴに行とった。僕に「来い」って。

YW: 何してたの？ シカゴで何してたの？

SY: 何もしとらん。でも何か仕事があるから。

YW: でも、あの。。。

SY: やっぱり僕ここが一番いい。一番先にサインした。

YW: ハワイに帰るって？

SY: ハワイが一番いい。

YW: それじゃヒラーセンターを出て、今度はシアトルまで...

SY: シアトルから帰った。

YW: シアトルまでは、どうやって行ったの？

SY: 連れていってくれる。

YW: バス？

SY: No、汽車で。

YW: 汽車で、連れてって来て、それで、そこから船？

SY: 軍用船。まだ、あのとき軍用船。

YW: で、ホノルルへ。

SY: 一年位したらね、今度は自分が払って帰らんといかんの。

YW: 一番最初だから連れて行って来て。

SY: No. あのころまだ、軍用船だからね。

YW: で、ホノルルへ 1945 年の 11 月。。。。

SY: そんときも船中でね、ここに（キッチンへ）来い言って。No！行かない、ごめんごめんって。（もうクックは enough だから）来てくれるかって、で一世、一世がおったん。一緒に帰ったの。引き取るから来いって。No、ごめんって。No。

YW: で、ハワイへ。ハワイへ戻りました？

SY: やっぱりハワイが一番いい。落ち着くよ。

YW: ハワイに戻って。ハワイに戻って今度はどうしました？

SY: 船に乗ったよ。

YW: え？

SY: 喜んじょる。ケワロベイスン来たら、おう明日から来い、OK 行く、行くの。

YW: お家はどうしました？どこに？

SY: おばさんここに。

YW: おばさん。おばさんがいた。おばさんはずっと、ハワイに居たんですか？

SY: ずっと、そのままおった。

YW: キャンプには行かなかったの？

SY: うん、行かない。

YW: ああ良かったわね。で、おばさんそこへ。ですぐじゃあ。。。。

SY: 年だから捕まらない。（悪いこともしないし）皆は捕まらない。

YW: 結局、吉兼さん、どうして捕まったとかは？

SY: やっぱり日本教育の。

YW: 日本教育？

SY: 帰米二世よ。

YW: それだけで。

SY: あれで分かった。

YW: あれで？

SY: まあ始め入って出る時、分かったよ。又捕まる。皆帰米。日本語分かるもの皆引
つ張るよ。危ないから。置いとったら。

YW: 日本語が出来るから。

SY: それでも外人でも良く覚えてるね。この始め入ったでしょ。50日ぐらい居って
僕又行ったでしょ。YOU WELLCOME BACK と言った。よう覚えてるな。

.....

YW: それで昭和16年ですから何年間キャンプにいらしたのでしょうか。4年くらいですね? 戻るのは20年だから。何か特に覚えている事有りますか。良かったとか。嫌だったとか。

SY: 戻る時に。一緒に帰ろうよと手紙やったの。アーカンソーに。

YW: 帰らないの?

SY: 帰らない。

YW: 弟さんはそのままシカゴに?

SY: うん。シカゴ。外人とマリした。

YW: ああ。そう。

SY: ジャーマンと。子供が三人。僕より先に生まれた。

YW: 吉兼さんは何時結婚したの?

SY: 何時したか忘れた。

YW: ハワイに帰ってから。

SY: 帰ってから。

YW: 日本の方?

SY: No.ここの。ローカル。

YW: 日系人?

SY: Yeah。マノアの。

YW: 何時頃? ずっと長い? 忘れた? お子さんあるのですか?

SY: 三人。ツーガール。ワンボーイ。今ボーイがサタデイ買い物に連れて行ってくれる。

YW: ああ。そう。良い息子さんですね。お嬢さんは?

SY: あれらはあかん。出た子だから。女の子は。

YW: 来ない?

SY: いや。やっぱり来ます。

YW: どこに住んでる？

SY: 皆ホノルル。

YW: じゃあ寂しくないですね。

SY: いや。めったに来ないよ。僕がどうも無いから。僕が、クック出来なかった方が良いの。何時でも思うの。僕が出来んかったら何かこしらえて持って来る。僕の方が上手なけん持って来んの。何も出来んかったら持って来るもんにな。

YW: お子さんとは日本語でしゃべるのですか。

SY: Yeah。3人ともパラマ学院。日本語学校。

YW: 三人とも日本語学校。

SY: 僕と話すときは日本語。

YW: そうですね。じゃ不便ではないですね。奥さんも？

SY: 日本語しゃべらなかつたらマリせんも。

YW: ああ、そうですね。でも英語もしゃべるのでしょうか？ 吉兼さん？

SY: 向うの言うのは少しは分かる。

YW: 自分からはしゃべらない。でもハワイに帰ってからは？

SY: とってもしゃべらない。今でもゲートボール行って皆日本語で。

YW: でも買い物に行ったりとか。

SY: 其の時は英語。

YW: それは不便は無いですか。

SY: 無い。まあハワイはあんまりブロークンでも分かるからの。綺麗な英語使わんでも。

YW: そうね。英語は、じゃあ友達も皆日本語で英語しゃべる人いない。

SY: あんまりいない。ゲートボールも皆日本語よ。

YW: でも幾つ位の人ですか。ゲートボール。

SY: 皆80。

YW: 日系人。二世とか。

SY: 二世が多い。あっちが日本語覚えて来るの。僕は日本語ばかりで。単語忘れよったのに日本語分かりだして。サンキュウや。僕のパパは日本語しゃべりだして。日本語分からなかったのがしゃべりだして。分かって来て。

YW: まあ戦争という事が有ったのでキャンプなんかに入ったけども。。

SY: 僕ら今友達が多くできたから。

YW: キャンプで？

SY: 皆友達になるんですよ。

YW: 今でもお友達ですか？

SY: や。皆あっこ入ってる者はすぐ分かる。

YW: 今でも連絡してます？

SY: 死んどる方が多い。生きているので一番若いの始めに入ったの85位。 あん時一番若いの。85位。だからよけ居ないの。

YW: でもどうですか。そう言う経験して酷い目にあつたとか思いますか？

SY: ノウ。ミー思わないね。

YW: 別にアメリカの政府に謝って欲しいとか思わない？ 戦争だったからですか？

SY: 良い経験した思っています。

YW: でも大変でしたよね。

SY: うん。始めは恐ろしかった。飛行機にやられそうで。あん時若かったから。19だった。皆年寄りなって。皆（今の）僕より若かった。動かれんなつちよった。腰がぬけてたの。こっち入れいっとるの。動かれん。マシンガンやられて。

YW: そのマシンガンは何時？

SY: December 7.

YW: あ。そう。その時。。

SY: 上から来た。アメリカ残とったよ。飛行機。ジャップはジャップ。漁師は皆日本人じゃけ。そうだった。あん時魚捕ととったの皆日本人。知とる。大分死んだよ。漁師。

YW: それは怖かったですよ。

SY: 僕何も知らなかったから。ラッキーよ。着物チェンジさせてくれなかったのがしゃくにさわる。着物濡れてるでしょ。塩で。あっちに綺麗なのがあるのに、何にもタッチするな。

YW: 検査された？

SY: ノウ。着物。濡れてる。かたまって。塩で。。。入って。何にもないでしょ。塩じゃから洗わんとどうにもならん。固うなってる。ここの塩きついからね。日本より。塩水ね。こっちの方がきつい。

YW: ああ。そうですか。それで着物がこちこちに。

SY: 固うなる。

YW: それでハワイに帰って又漁師をやって。どのくらいやってらしたの？

SY: 11年か12年。それで今度はカーペンター。

YW: ああそうなんですか。じゃカーペンターも出来る。

SY: 今カーペンターのユニオンがある。楽な。カーペンター行ったから。漁師は何もないでしょ。

YW: 良かったですね。

SY: 何年にできたね。ユニオン。

YW: それは今でも？ カーペンターやってる？

SY: やらないよ。仕事は終わり。（62歳から SOCIAL SECURITY 画もらえるので仕事は63か64歳の時にやめた。）

YW: じゃ今はゲートボールを楽しんで。後なにしていますか。毎日。

SY: 僕は座とるのは嫌い。座っていると寝よるけん。座ってもすぐきれいにしに行く。（掃除をする）。

YW: 今コンドミニウムに住んでいます？ 便利ですよ。アラモアナの近くで。

SY: 近い。バスが真ん前停まる。

YW: あちこち出かける？

SY: 大抵出てる。アラモアナへ。家に居たらいけない。座ってTV見るから。今いけない。ベースボールがあるから。あれ好きだからどうしても座る。

YW: どこのTV見てる？ 何チャンネル？

SY: いまボックスがある。ベースボール見える。子供が買うてくれた。

YW: ご両親の話は？ 覚えていますか？

SY: 生まれたのここ。

YW: お父さんが明治29年5月10日。

SY: お父さん80過ぎまで生きた。

YW: 84歳？その時お父さんはどこに居たのですか？ハワイ？日本？

SY: 日本へ帰った。お母さんは83。先に死んだ。

YW: お母さんは32年の12月。

SY: お祖母さんは88。お祖母さん子じゃ。じゃけんいけない。学校いくまでおばあさん。

YW: それは山口で？ どうゆう思い出がありますか。

SY: 死んだ時いなかった。会わずに。

YW: ハワイにいたのですか。

SY: 行っても死んじゃるから行かん。死んじゃるならいかん。つまらん。話されん。

YW: じゃあどういのお話をしてくれましたか？

SY: 家でな食べ物は美味くなかった。それで何でも作ってくれるの。卵でも僕ら実は卵なんか食われんで。僕が言うものやってくれる。おばあさん子なんだ。お母さんより料理上手じゃった。

YW: お母さんの思い出は？

SY: あんまりないね。こっち来たから。お父さんの方が近い。お父さん来たでしょ。こっちに。一緒に。

YW: 漁にでていたから。お父さんの思い出は？

SY: お父さん。力が有った。

YW: 何か何時も言われていた事ありますか。

SY: 何時も怒られるの。お父さんには。つまらんで。

YW: つまらんで。どうして。

SY: あのおかげでね。漁師になって。何か仕事しても負けなかった。

YW: 負けるなって。お父さんに言われた？

SY: ああ。

YW: 強くなりました？

SY: 何でも早うなった。仕事するの。

YW: 釣るんですか。

SY: ノウ。シビじゃった。アヒじゃた。

YW: アヒを釣ったんですか？

SY: マグロ。マグロじゃった。

YW: こんな大きい。網で？

SY: ノウ。一本。ラインやっとる。

YW: ラインにかかるんですか。大きいですね。

SY: なんぼでも海に。。。

YW: すごいですね。力いりますよね。

SY: 昔はフカも捕りよったからね。かまぼこに使いよった。

YW: ああ、そうですか。怖くない？

SY: 怖くない。捕ってから頭切って。かまぼこに入れるの。ずいぶん昔の方が大きかったでしょ。今何か固い様なね。ラバーみたいな。

YW: 他に何か覚えている事は？

SY: 写真もあったけど。持って来よう思ったけど。やめた。

YW: 御家族の写真？

SY: ノー。センターの。

YW: センターの有ったんですか。見せていただければ良かった。今度見せてください。それでどうですか。今は随分世の中変わりましたね。何か若い人に言いたい事ありますか？ 今の若い人どうですか？

SY: 皆違うしね。言うても。僕らの時代の事いうと馬鹿言うんじゃないの。

YW: 聞かないですか？

SY: あれで良いんじゃない。若い者は。うちのボーイら何にも言わん。

YW: でも何か言っておきたいことあるんじゃないですか？

SY: ない。今あれだけしてくれたら良いでしょ。サタデイ、サタデイちゃんと買物に連れていくんじゃないから。サンキュウ言うて。ね。

YW: ではこれからもお元気で。毎日楽しく。又ここに遊びに来てください。今日は本当に有り難うございました。長い間。

.....